

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0863
住 所 神奈川県川崎市川崎区夜光3丁目3番地3号
氏 名 日本食塩製造株式会社
代表取締役社長 貞永 憲作

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本食塩製造株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区夜光3丁目3番地3号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	塩製造業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	5,678	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ～ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 〇のある欄は、該当する〇内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

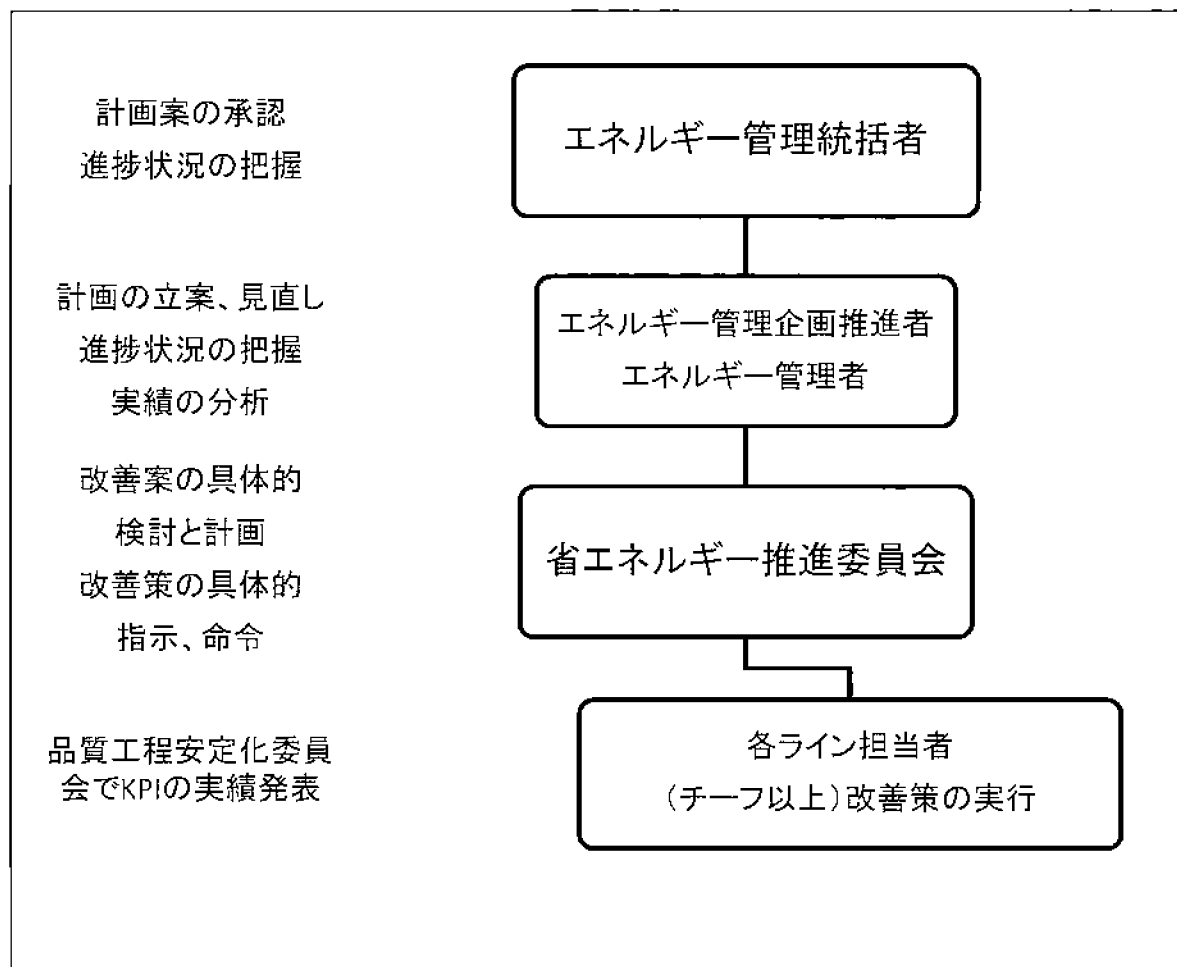
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

製塩設備の運転改善を推進し製造原単位を向上させることにより、温室効果ガスの排出量を削減する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

- ①省エネルギー推進委員会は、不定期開催
- ②各エネルギーの使用量は社内で重要業績評価指標KPI（Key Performance Indicator）を設定し、毎月開催する工程安定化委員会で実績・対策を確認・共有する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基準年度		2018年度			
目標年度		2021年度			
基準排出量		(実) (調)	10,848 10,772	(実) (調)	t-CO ₂ t-CO ₂
目標排出量		(実) (調)	10,522 10,516	(実) (調)	t-CO ₂ t-CO ₂
削減量		(実)	326	(実)	t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実)	326	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0	(実)	t-CO ₂
削減率		(実)	3.0	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量					
原単位の単位					
基準年度の値					
目標年度の値					
削減率		%		%	

ウ 目標設定に関する説明

エネルギーの使用合理化に関する法律で第一種エネルギー管理指定工場に指定されているので、エネルギー原単位の削減目標に合わせ、基準排出量から年1%、3カ年で3%削減することで目標排出量を設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

年1%以上の排出量削減

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	1. 高温部の保温 配管・設備屋根・熱交換器等 2. ボイラー効率の改善 ボイラー更新検討 3. 空調機の効率化 夏季、室外機への冷却水間欠噴霧実施 （空調機容量 各11kw 合計8台実施） 4. 3・4号コンプレッサーの更新 22kwのコンプレッサー2台を、省エネタイプに更新 5. 工場内照明器具を省エネタイプ（LED化）に更新 水銀灯100W→14W＝7灯 250W→33W＝6灯 蛍光灯40W→14.5W＝87灯 6. 生産設備集約化に伴う、エネルギー削減
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

○高温部の保温 熱交換設備更新に伴う配管保温を実施 ○常用コンプレッサー更新 30kW・22kW・11kWのコンプレッサー3台を、省エネタイプに更新を実施 ○工場内照明器具を省エネタイプに更新 水銀灯31台・蛍光灯41台を、LED光源に更新を実施 ○高温部の保温 蒸発缶設備更新に伴う配管保温を実施 ○工場内照明器具を省エネタイプに更新 蛍光灯10台を、LED光源に更新を実施

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加 2. 廃棄物の分別化を促進 3. 包装ロスの低減化促進による廃棄物の低減 4. 用水使用量の低減によるエネルギーロスの低下（復水の利用向上）
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の最等の実績（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

（実）	10,848	t-CO ₂
（調）	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

5,678	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

（2）事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日本食塩製造株式会社	川崎市川崎区夜光3丁目3番地3号	10,848 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂